



研究のキーワード

- ・ 知能化ネットワーク
- ・ ベイズ最適化による物理モデル推定
- ・ ノンパラメトリック回帰による植物成育度の推定
- ・ リカレントニューラルネットワークによる時系列データ予測



実習テーマの例

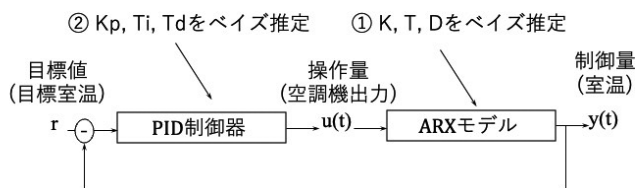
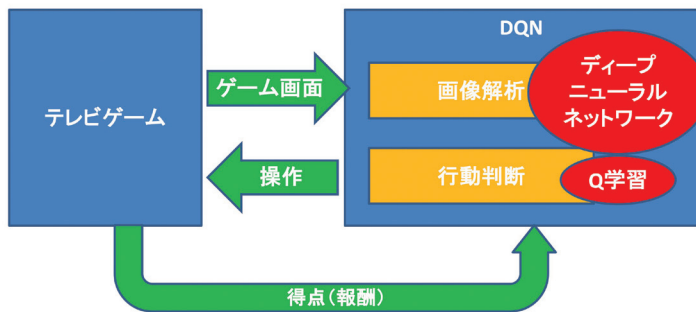
- ディープラーニングを動かしてみる
- ディープラーニングのプログラミング基礎
- ディープラーニングのプログラミング応用

	実習回数		
	1回	複数回	半年・通年
● ディープラーニングを動かしてみる	○	—	—
● ディープラーニングのプログラミング基礎	—	○	—
● ディープラーニングのプログラミング応用	—	—	○



実習テーマの内容

画像を解析し、得点が高くなる 行動を取るように学習



強化学習

通常のAIの学習は、教師あり学習と言って、人間が正解データを大量に用意してやる必要がある。一方、強化学習では、正解データなしにAIが自力で学習する。

強化学習は、エージェントというプログラムが、環境情報を取得し、それに対して行動を起こし、いずれ得られる報酬によって、行動の良し悪しを学習していく。

高校で実習を行う場合に準備が必要となるもの

全員 (または全チーム) 分のパソコン (想定人数40人以下)

パソコンの条件

- 最新のWebブラウザ (Chrome, Firefox, Edge等) が動くこと。
- Webブラウザから公立諏訪東京理科大学のWebサイト (*.sus.ac.jp) へのアクセスが可能であること (HTTPSやWebSocketがブロックされていないこと)。
- WebブラウザのJavaScriptが動作すること (機能停止されていないこと)。